

萩ジオパーク推協だより

2017年3月30日 No. 24

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510

TEL : 0838-21-7765

e-mail : hg-geo@city.hagi.lg.jp

HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行：萩ジオパーク構想推進協議会 事務局

拠点施設「萩・明倫学舎」がオープンして

事務局長 福島康行

先号でもお知らせしましたが、“ジオパークビジターセンター”について、もう少し詳しくご紹介しましょう。

「笠山とその周辺」、「長門峡」、「須佐湾・高山」、「龍が通った道」の魅力をお伝えする展示室の中央には、萩とその周辺の立体地形模型が置かれています。正面のボタンを押すと、模型上にプロジェクションマッピングで、それぞれ約60秒間のストーリーが映し出されます。萩の周辺にある気まぐれな火山たちの話、萩三角州の成立には、実は火山が大きく関わっている話、マグマの熱で焼かれた地層の話、小さな火山の流した長い長い溶岩流の話などが繰り返し広がられます。

身近な景色の中にも、実際には不思議がいっぱい詰まっています。

これらをきっかけに、大地の成り立ちと仕組みに気付き、生態系や人間の歴史・文化にも大地が大きく関わっていることに思いを馳せていただけたらと思います。



〔目の前でストーリーが流れる〕

萩・椿まつりで子どもボランティアガイドをしました 3/11 (土)

3月11日(土)午前10時から、萩市笠山椿群生林で行われている「萩椿まつり」会場において、昨年に引き続いて、萩市立越ヶ浜小学校4年生8人が、子どもボランティアガイドを務めました。今年の4年生は、「総合的な学習の時間」を中心に「風穴と明神池」のことを学び、それぞれ「見どころマップ」を添えたパンフレットを完成させ、一人ひとりが来場されたお客様にお渡ししてガイドをしました。はじめは緊張をして声かけができなかった子どもたちも、褒められ、やり遂げた達成感から自信をもって、次のお客様へ対応する様子は、大変ほほえましいものでした。地域の方々の支援を受けながら成長する子どもたち。当推進協議会もその一助となれたようです。



〔自信に満ちた子どもガイド〕

自作「岩石セット」を教材に公開授業 萩市立川上中学校 3/16 (木)

ジオな教育委員会が制作した「岩石教材セット」を使った授業が、3月16日(木)、萩市立川上中学校でありました。指導者は伊達千絵教諭でした。授業では1年生6人が、理科「マグマからできた岩石」の学習で、火成岩6種類を岩石の色(鉱物の色)と粒の大きさ(結晶の大きさ)をもとに、名前を同定しました。生徒たちは、岩石を手に取り五感を使ったり、顕微鏡で観察したり、iPadで拡大撮影をしたりしていました。直接、石に手を触れ、熱心に取り組んでいました。ふるさとの大地をつくる岩石に目を向け、学習の理解を深める授業でした。

〔岩石を手に取り学習する生徒たち〕



第9回日本ジオパークネットワーク全国研修会 in Mine 秋吉台ジオパーク

3月10日(金)から12日(日)にかけて、Mine 秋吉台ジオパークを会場に、第9回日本ジオパークネットワーク全国研修会が開催されました。今回のテーマは「ジオツーリズムによる地域経済の好循環～おたくのジオツアー儲かっちゃう?～」と題し、120名近い参加者がみんなで協議を行いました。「しっかりターゲットを見定め」、「伝えたいことを絞り」、「情報を整理し単純化すること」、「お客様の「なぜ?」に答える内容になるように、各地域で改めてジオツアーを考えること」などが話題となりました。「ポストツアー in 萩ジオパーク構想」では、北海道から鹿児島までの17地域33名のジオパーク関係者が萩を探索しました。萩城下町と笠山をご案内しましたが、事務局の準備・調整不足の点もあり、ジオツアーやジオパーク活動への共通理解が、まだまだということを露呈する結果となりました。参加者のアンケートには、「素材として面白いものがあったこと」「みんなで伝える内容を精査し、点をつないでストーリーを構築していくことで、「売れるジオツアー」になるのでは?」などの意見がありました。全国的な視点から学ぶ、貴重な機会となりました。



〔萩城下町を探索する参加者たち〕

3月10日からMine 秋吉台ジオパークで開催された「全国研修会」に参加しました。3泊4日の合宿で、ワークショップとジオツアー体験があり、盛りだくさんの内容でした。でも、ムリをしてでも参加して良かったと思えました。

数年前に、初めてこのカルスト(石灰岩)台地を訪れた時、以前旅したハワイ島を思い出すほどに感動しました。久しぶりの今回も、やはり旅したマチュピチュやパームスプリングの風景を思い出しました。それらは、私が「ステイ・送迎・ガイド」の3点セットにした旅商いを考えるきっかけともなった景色ですが、秋吉台の光景は同じように雄大で、負けず劣らずの絶景でした。ツアー体験では、その景色の中を赤い自転車で駆け巡り、ジオ(大地)を踏みしめるように歩きました。目の前のカルストの岩たちは、まるで地球の羅漢石のようでした。また、石の専門家がチームの中において、彼が岩にサンゴを発見したりなんてことも。そして、アップダウンの果てに見たドリーネ畑。このカルスト台地特有の窪地にはごぼう畑があり、ブランドの「美東ごぼう」を栽培しています。納得の美味と香り。「地域の地形がもたらすもの」と農家さんの言葉。「ここまで農機具などを運ぶのは至難の業では?」というツアー参加者の質問に、「いやあ、この景色を眺めながらの畑作は楽しくて、そんなことは苦にはならないです」の答え。カルスト台地が目の前に立ちほだかる。「決して人間は自然には適わないんだ、という自然への畏怖を感じました。



〔熱心な協議が行われた研修会〕

(参加者の感想 萩市地域おこし協力隊員 商工振興課 北川陽子)

4月の予定

- 萩ジオパーク構想推進協議会定期総会 4月10日(月) 13:30～、会場：萩市役所2階大会議室
- 萩ジオカフェ【特別編】 4月13日(木) 18:30～20:00、会場：Mine 秋吉台ジオパークビジターセンター・カルスター、参加費：500円(予定) 申込み・問合せ：萩ジオパーク構想推進協議会(締切：4/11、取りまとめで申込みます。)
- 萩ジオカフェ 4月20日(木) 14:00～15:30 会場：笠山山頂展望台(雨天の場合は萩・明倫学舎復元教室)、18:30～20:00 会場：萩市民館第3会議室、参加費：100円
- Mine 秋吉台ジオパーク・ジオツアー 4月23日(日) 9:00～16:00、萩市役所前庭9時集合・出発、参加費：3000円(昼食代、入洞料、ガイド料など)、定員：20名(締切：4/13) 申込み・問合せ：萩ジオパーク構想推進協議会(電話：0838-21-7765) ジオガイド養成の一環として実施します。一緒に、先行地のよい点を学びましょう。